

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者） 競艇場（職員）	単価の動き 販売量の動き	・客単価、客数共に前年を上回り、売上の伸びも2けたに上昇している。接客の迅速化やプロモーションが功を奏してきた。 ・先月末から開催したレースの来客数が多く、売上も高かった。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子		・客があまり活発に買い物をするような状況ではない。ただし観光客が多いことから、飲食店などで何とかもっている。
		一般小売店（経営者）	お客様の様子		・報道等がこの不況感をあおっているという話を周囲から良く聞く。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	お客様の様子		・商品を見ていく客の数にも、買っていく客の数にも変化は無い。
		一般小売店〔印章〕（営業担当）	来客数の動き		・法人、個人共に来客数が少なくなっており、必要なもの以外は買わなくなっている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子		・様々な催事などで来客数はあるものの、見るだけの客が以前より増えている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子		・身の回り品や化粧品などは非常に厳しい状況が続いているが、アパレル関連の春物の動きは活発になっており、相殺して状況は変わらない。店全体で見れば、食料品関連は好調に推移している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き		・商品に必需品が多いため、客は購入を減らしていない。今年は前年より暦日が1日少ないが、それをカバーしてもなお売上が増えている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き		・まわりの自営業の人に聞いても売行きは悪く、良くなる要素が見当たらないと言っている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き		・3か月前と比べると来客数は少ないが、成約率は高くなっている。
		乗用車販売店（サービス担当）	販売量の動き		・最近、前年の80%が良い方で、新車の販売台数が少ない。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	来客数の動き		・昨年11月から今年1月にかけては、来客数、売上共に過去最悪であったが、2月に入り、来客数が少し増えた。
		その他専門店〔カメラ〕（店長）	来客数の動き		・来客数が前年比で若干プラスとなった。ただ客単価は減少傾向になっているため、予断は許されない。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き		・予約件数は昨年度に比べかなり悪い数字である。
		観光型ホテル（経理総務担当）	単価の動き		・この時期恒例となっている地域のイベントに伴うランチフェアは、価格の手頃感もあって、好調である。反面、高価格なレストランは売上、来客数共に減っている。
		都市型ホテル（総務担当）	販売量の動き		・企業の出張のキャンセルや延期、縮小の影響をまともに受けたため、客室部門の稼働率が大幅に落ち込んでいる。また、それに附随して、レストラン部門の低迷も著しい。
		タクシー運転手	来客数の動き		・2月に入り利用率が悪く、売上も落ちている。また寒さのせいか、夜の乗客数も大変少なくなっている。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子		・他社よりも料金を安くしているため、思ったほど不景気は契約獲得上のブレーキにはなっていない。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き		・この時期はいわゆる閑散期にもかかわらず、来客数は例年より若干多めで推移している。
テーマパーク（広報担当）	来客数の動き		・来客数は昨年同時期を上回っている。		
住宅販売会社（経理担当）	お客様の様子		・客は今が不動産物件の底値と判断しているようで、2月に入り多少物件を物色する動きが出ている。ただし、買い手市場であることには変わりはなく、マンションの値引き合戦の影響が、戸建住宅にも影響を及ぼし、値引き要請は強くなっている。		
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き		・天候の影響と、マスコミ報道により客が景気は良くないと思っていることが大きく影響した。	

商店街（代表者）	お客様の様子	・マスコミ等のアナウンス効果により、客の購買態度は慎重になっている。ただしクレジット利用の方は伸びている。宝飾品のクレジット利用は不況の時に伸びるが、いつも以上に伸びている。
商店街（代表者）	来客数の動き	・季節的な要因だけではなく、かなり来客数は減ってきている。
一般小売店〔酒店〕（経営者）	お客様の様子	・消費者が節約志向になっているため、店頭販売への来客数が減少し、料飲店関係の注文配達も減少している。同業者も同じようだ。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・セールの売上が厳しく、春物のプロパーアイテムも新しいヒットアイテムもなく、全体的に売上上昇の兆しが見えない。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・2月は例年売上の落ち込む月ではあるが、今月の落込みは前年同月比90%と大きい。12月、1月は悪いながらも95%程度であったので、確実に財布のひもが固くなっている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・低価格を前面に押し出した販売促進を始めたところ、来客数が前年比で6～8%増えたが、その分、客単価が4～5%落ちている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・ここ半年、来客数が前年比102～103%で推移していたが、今月は101%とやや陰りが見えてきた。
スーパー（店長）	来客数の動き	・当月の来客数が前年比90%で、ここ3か月、月を重ねるごとに減少し続けている。これに伴い売上、販売量も減少しており、景気の後退をあらゆる面で実感している。
スーパー（経理担当）	来客数の動き	・当地も不況の風が吹いていて、週の稼働日数が3日という工場もかなりある。
スーパー（販売担当）	競争相手の様子	・競合店が来店客のみに広告チラシを配るなど、積極的な囲い込みをしており、その影響が出た。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・3か月前に比べ、客単価の前年比が0.8%低下した。来客数は横ばいだが、単価の低い物を買っているか、買上点数を減らしている。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・前年比で売上が8%増えているが、これは去年が前年比93%と悪かったことの反動に過ぎない。販売量、来客数はそこそこ増えているが客単価は低下しており、状況としては良くない。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・主力の弁当の売上が大きく減少している。今まで弁当を買っていた客が弁当を家から持ってくるようになり、カップラーメンのみを購入して、車の中で弁当と一緒に食べている姿を良く見かける。
衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・冬物の不振が、春物の売れ行きにまで、悪い影響を及ぼしている。
衣料品専門店（販売促進担当）	来客数の動き	・今月はジャケットなどが好調で客単価が上がっているため、売上は若干伸びている。来客数は多いが、買上になる客は相変わらず少ない。ただ後半になって、春物を中心に買上率も上がってきている。
家電量販店（店長）	単価の動き	・テレビ、パソコン、DVD、洗濯機、冷蔵庫など高額商品の購入に時間が掛かっている。特に洗濯機、冷蔵庫などは壊れないと購入しない。その代わり安い小物関係は好調に推移している。
家電量販店（予算担当）	販売量の動き	・12月の状況からすると、若干良くなりつつある商品や地域もあるが、売上等、低下傾向にあるのは変わらない。
乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・今月は車の購入層に動きがあったものの、依然として販売量は前年を大きく下回っている。
乗用車販売店（統括）	単価の動き	・来客数も減っているが、客単価の減少が大きいと感じる。時期的なものもあるが、より値頃感のあるものへ流れている。
自動車備品販売店（店長）	販売量の動き	・販売量、客単価、来客数のすべてが前年割れを起こしており、先行きが見えない。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ここしばらく、前年比で来客数が減っている状況が続いている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・寒さは去年ほどひどくないのに、なぜか来客数が少なくなった。
スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子がいよいよ悪くなっている。接待や、客との情報交換も居酒屋になり、しかも会社が費用を負担しなくなっている。

	通信会社（社員）	お客様の様子	・利用契約開始の延期があった。
	通信会社（総務担当）	お客様の様子	・1度承諾したあとでキャンセルするケースが散見されるなど、客の反応は厳しくなっている。前年と比べ、契約獲得数が減っている。
	通信会社（総務担当）	お客様の様子	・販売量も伸び悩み、客利用サービスの単価も下がっている。
	テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・来客数が減少している。
	ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・1月同様に客の動きが無い。来客数は前年の70%程度で、客単価も前年の90%と非常に厳しい状況である。
	美容室（経営者）	単価の動き	・客の財布のひもが固くなっている。実際には金が無いと言う感じでは無いのだが、来客数、客単価とも下がり気味で、歯止めが掛からない。
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・客の中で、収入減となった客が多くなった。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・設備投資意欲が全くない。前向きな話がまったく聞こえない。資金繰りに困窮している話が日々聞こえる。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・景気回復の見通しが立っていない状況で、客は建築にまで費用が回せない雰囲気である。
悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・連鎖不況とその報道等により客は先行きを不安視している。更に身近なところでのリストラ等により、必要なものしか買わなくなっており、バーゲンで安くなるのを待ちながら買い控えている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・10代、20代に特に買い物をする意欲が少なくなっている。
	一般小売店〔靴〕（経営者）	単価の動き	・来客数がかかり減少している。
	一般小売店〔茶〕（経営者）	お客様の様子	・卸部門の業績が悪いので、全体で見れば売上は前年を下回っているが、来客数が増え、卸部門で扱わない比較的良い品物が良く売れるようになっている。
	一般小売店（営業）	販売量の動き	・1月の反動か、若干客足が戻ったようにも思うが、財布のひもが固く、寿司店や焼肉店などぜい沢と思われる飲食店の売上の減少が相変わらず厳しい。
	百貨店（営業担当）	単価の動き	・高額商品の販売量が明らかに減少しており、厳しい状況が続いている。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・2月前半から衣料品の売上が前年比80%で推移している。高額ブランドバッグは定価販売だけでなく、割引販売も前年比60%と大苦戦しており、好調なのは食品のギフト解体や、わずかな欠陥のため正価では売れない生活必需品の特価催事のみで、店全体としても前年比90%前半で推移している。
	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・文化催事に動員効果があり、来客数は前年をやや下回っている程度だが、シャワー効果がほとんど見られない。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・大変来客数が少なく、買い控えも多くなっている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・客単価がどんどん下がっていることに加え、買上点数も少なくなってきた。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・極端に単価の低いものを選ぶ客が増えており、パン、肉、惣菜、刺身など、特に賞味期限ぎりぎりでも値引きされた商品が集中的に売切れる。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・特に給料日前、競合店の販促が強い時などに買い控えが見られる。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・定番商品の動きが悪く、特売品でも今必要なものを必要な分買うだけで、安いからついでに買っておこうという動きがなくなり、大変悪くなってきた。
	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・節約志向により、客の来店頻度が減っているためか、既存店の来客数が95.0%に落ち込んでいる。
	スーパー（経営企画）	販売量の動き	・2月21日現在の既存店の取引点数が前年比97.62%、客単価が98.20%となった。
	コンビニ（エリア担当）	それ以外	・食品スーパーには客が戻ったように感じられるが、ホームセンターやドラッグストア、家電量販店の駐車場は相変わらずまばらなままだ。



	繊維工業（統括担当）	受注量や販売量の動き	・制服メーカーで一定の売上があるはずなのだが、商品の売れ行きが大変落ちている。
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・工場の稼働率の低下が続いている。
	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注が大きく落ち込み、販売が急減している。円高による輸出不振も打撃となっている。
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・海外の取引先からの注文が見通しより悪化しており、売上の確保が急務となっている。それに対応して工場では生産調整で減産を実施しており、非常に厳しい状態である。
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の受注減少の幅が、いよいよ拡大している。今まではなだらかな減少であったが、ここに来て大幅な減少となり、ほとんど生産ゼロの部門も出てきている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建設業は本来なら今がピーク時のはずだが、大変低調だ。そのほか建設資材、産業廃棄物の方も全く動かない。
	輸送業（統括）	受注価格や販売価格の動き	・既存客のスポット作業の単価は、大幅値下げしないと獲得できなくなった。
	輸送業（運送担当）	取引先の様子	・地元大手製造業が軒並み稼働率を下げ、週休3日制にするなど厳しい状況である。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・ガス、水道、電気、内装など中小の建設関係の企業が多いが、建物が建たないため仕事が全くない。単発の仕事があっても、次はないという話を良く聞く。
	金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・主要受注先では、欧州向けは在庫調整が進みや回復しているが、北米向けの輸出が5割減少し、ロシア向けは全減するなど、全体で工場の操業度は3～4割程度になっている。
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・求人広告のうち派遣会社が占める割合はかなりあるのだが、大手に人材を送り込んでいた派遣会社が、ほとんど全て新規登録募集をストップした。
	その他サービス業〔建築物清掃業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・来年度に向けての年末の入札で、例年よりも落札金額の下げ幅が大きい。各社とも懸命に仕事を取りに来ているが、損益分岐点を下回っているのではないかと懸念する落札金額が見られる。
悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・巻き網船、底引き網船は前年並みで推移しているが、先々月からイカ漁が不振で、特にスルメイカ漁が全く獲れない状態である。最盛期だけに、痛手になっている。
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・取引先の来期の予算が出るのが遅れ気味である。3月までは把握できているが、4月以降については不透明の状況である。
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	競争相手の様子	・大型工事事業材料の受注残があるため、当社の一部では残業を実施したが、多くの同業他社は客の減産、在庫調整の影響と自身の在庫調整のため、休業を実施している。
	金属製品製造業（総務担当）	それ以外	・仕事量の減少に伴い、平均5%の管理職の給与カットが決定した。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末は物流関係が動いていて、主力の自動車産業の不振で余った人員を派遣しカバーしていたものの、最近物流も動かなくなり、自動車は相変わらず悪い。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注については船舶工事の一部中止や、先送りが憂慮され、資材、原材料代は高止まりしたまま一向に下がらない。諸経費の節減に努めているが、採算的に厳しい状態が続いている。
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上減から在庫増となり、更に生産調整及び価格低下に繋がる状況が少しずつ現れてきている。当社はとてあえず生産量を確保しているが、価格低下商品が増え、利益の圧迫が顕著である。また製品輸出が少なく原料輸入が多いことが幸いし、何とか為替差益でしのいでいるが、これもいつまで続くかは不明である。
	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・既存取引客から、ランニングコストの削減依頼が増加している。併せて今まで提案を実施していた案件が保留となるケースも増えている。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・製造業の売上高の低下には、啞然とするばかりである。ワークシェアリングや廃業、休業の検討など、所詮ニュースの中での出来事と思っていた事態が、現実目の前で起こってきている。

雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	求人情報誌製作 会社（支店長） 求人情報誌製作 会社（支社長）	採用者数の動き それ以外	・2010年新卒採用予定数は減少傾向にあり、また予定 数そのものがまだ確定できない企業も多い。 ・高等教育機関への進学者が減っており、悪化という より、悪い状態が続いている。
	やや悪く なっている	求人情報誌製作 会社（担当者） 新聞社〔求人広 告〕（担当者）	採用者数の動き 周辺企業の様子	・業績が良くないため、採用予算の検討に入れない様 子の企業が増えた。 ・取引企業があまねく悪くなった。温泉旅館は並クラ スの客層が激減し、食事客のお得意だった主婦層が めっきり減った。印刷業は特に厳しく、本業の印刷以 外の仕事はないかと模索している。景気低迷でもにぎ わっていた飲食店も「夜は2回転していたのが、今年 に入って1回転しかない」とぼやいており、雇用どこ ろではない。
	悪く なっている	人材派遣会社 （営業担当）	求人数の動き	・2月の求人依頼数は、前年同月の35%程度である。 特に製造業の作業職求人が激減している。事務職・販 売職の求人も大きく落ち込んでいる。
		人材派遣会社 （支店長）	求人数の動き	・前年比の求人数がマイナス40%となった。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・製造業の求人の減少幅が特に大きく、新規求人は前 年同月の6割減となっている。EUや北米向けの輸出 減や消費意欲の減退による売上不振などから、企業に 求人を出す余力が無いことが、新規求人数の減少に影 響している。
		職業安定所（職 員）	周辺企業の様子	・建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業など では、受注量の減少や売上の減少を理由とした人員整理 や事業廃止などが前年同期に比べて多くなっている。 また、生産調整のための休業を計画している事業所か らの相談や、雇用調整助成金の申請が多く見られる。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・求職者は増加しているにもかかわらず、求人は製造 業を中心に減少を続けている。
		職業安定所（雇 用開発担当）	求人数の動き	・製造業関係企業からの求人は全く期待できない状態 となっており、先行き回復の目処は立っていない。た だ、充足困難職種である飲食・小売業・介護関連業 企業からの求人は増加傾向にある。
民間職業紹介機 関（職員）		求職者数の動き	・求職者の登録数が前年同月比で200%以上であり、 離職者の割合も前年同月に比べ大幅増となった。その 結果、中小の建築関係企業の4名採用枠に400名が応 募するなど、数ヶ月前では到底考えられない現象が随 所で散見される。	
民間職業紹介機 関（職員）	周辺企業の様子	・倉庫業地場大手企業で派遣社員の人数を最低まで 絞っているが、それでも、1人当たりの1日の実働時 間8時間を確保しづらくなっている。		